

(25) 魚病監視調査

予算

運営費交付金

結果の概要

魚病の蔓延防止のため、(公財)大阪府漁業振興基金の種苗生産現場および大阪府内の養殖場等にて発生した魚病の診断ならびに指導を行った。種苗生産現場では、特にヒラメ親魚のスクーチカ症、マコガレイ放流種苗のエドワジエラ症で被害が大きく、診断するとともに飼育方法等についての助言を行った。畜養施設のヒラメにおいて VHS の発症が確認され、飼育水温等の助言を行った。

調査方法

1. 調査期間

2013 年 4 月～2014 年 3 月

2. 調査項目

魚病診断

育成魚等の異常が報告された場合、すみやかに魚病診断を行った。

調査結果

表 1 のとおり。

担当者

辻村浩隆

表 1 魚病監視調査、魚病診断件数

魚種	病名	2013年					2014年					合計		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月		2月	3月
	スクーチカ症	1	1											2
ヒラメ	カザリビル					1								1
	VHS									1				1
キジハタ	エラムシ症(※1)			1										1
	シュードモナス症?							1						1
クロダイ	エラムシ症(※2)	1												1
マコガレイ	エドワジエラ症					1	1							2
ブリ	イリドウイルス症					1								1

※1: *Pseudorhabdosynochus epinepheli*

※2: 未同定